

昭和52年1977

8月

横浜市関係

- 1—市が窒素酸化物(NO_x)対策指導要綱を実施。目標値はO・O四PPM。
- ▽西区久保町地区に住居表示制度実施。
- ▽金沢区富岡八幡公園を一部公開
- 2—大洋球団の横浜移転決る
- 4—京浜急行電鉄が釜利谷地区開発にとまなう排土トンネルの掘削工事に着手
- 6—この日から二〇日未明までずっと雨冷夏となる
- 8—市で市民参加の予算づくりをめざし組織化をきめる
- 9—中区福富町の町内会がバイラー追放と不法駐車しめ出しの巡回パトロール
- 11—市渉外部、瑞穂埠頭(ノースドック)の早期返還にとりくむ
- 12—市役所で港北ニュータウン開発事業の顧問会議(来年三月迄に三三%の工事着手を決める)▽釜利谷開発反対派住民が、排土トンネル工事差止めのため処分申請を横浜地裁に提出
- 17—県民ホールで総評第五回定期大会
- 19—市長、シアトルの第一回日米市長・会頭会議へ出発。▽金沢区で金沢まつり。▽市民クラブ22号、市内の川を特集
- 23—建築局、木造市営住宅建てかえのため、団地ごとに説明会をひらく
- 25—市、路上の置き看板撤去に乗出す
- 26—五十年一月の市大病院新生児死亡事

自治体・国・社会

- 1—PXL(対潜しよう戒機)にロッキード社のP3Cオライオン近く内定。2—ASEAN文化交流に政府五〇億円支出。
- 3—原水禁統一世界大会開く。
- イトーピア返子葉山邸宅地の自治会が県立高校建設反対提訴。
- 4—ソ日漁業暫定協定調印式。
- 5—津軽に集中豪雨。死者・行方不明二人。7—成田空港騒音テスト飛行。▽北海道有珠山で午前、午後四回爆発。8—日本山岳協会隊、史上二度目のK2登頂に成功。9—中区住吉町で対米絹スカーフ輸入規制反対総決起集会。▽狭山事件、石川一雄被告の上告を棄却。10—サクランボ来年から輸入解禁を決定。
- 11—昇仙峡で観光バス転落死者一〇人。12—県、新神奈川計画の基本案をまとめる(二七日第一回県民討論会)。13—神奈川県民訴訟、横浜地裁に九億四千六百万円の損害賠償請求。18—国鉄、貨物合理化案を労組に提示。23—政府、成田空港の年内開港を断念。24—県評、横浜地裁所長の解任を求める署名運動。

9月

昭和52年1977

横浜市関係

- 件で、横浜地裁は手術前の点滴ミスと判断、病院側の過失を認めた
- 29—市、新五カ年指標公表
- 31—道路局、私道に対する補助率を二分の一から三分の二に引上げ。▽市公共事業の契約率目標七〇%に対し実績三五%
- 1—市内各地で防災総合訓練。△鶴見区潮田公園のテニスコートに初の夜間照明
- 6—派大岡川四〇〇メートルの四五年来の埋立工事終る
- 7—四十八年一月の港北区勝田町幼女水死事故に、横浜地裁、市に管理責任ある旨の判決
- 8—東戸塚駅の設置本決り。開業は五十五年の予定
- 10—豪雨で緑区池辺町の主婦一人死亡
- 13—本町小学校校庭(ガス会社跡)に故渋沢栄一郎のガス燈を移転
- 19—桜木町駅前の横浜市医師会館閉館式跡地には夜間救急医療センターをふくむ十階建ての複合ビルを予定。▽第二二回県下建築コンクール。市の建築物では最優秀賞三点につぐ優秀賞九点のうち、左近山小、緑区山内支所、環境事業局南戸塚工場、同余熱利用施設の四点が選ばれた
- 20—経済局、今年度のモデル化商店街に

自治体・国・社会

- ▽国土庁、第三次全国総合計画の試案発表。27—播磨灘で養殖ハマチ大量死。31—返子米軍池子彈薬庫地一部返還。▽東京都の荒川下水処理場計画に荒川区が反対。
- 3—政府、七項目の総合景気対策。▽小山原で第二回県民討論会。▽王選手七五六本塁打達成
- 8—箱根町の大涌谷自然科学公園オープン。9—神奈川県評二八回大会。▽湯河原町で、大規模霊園の計画に反対運動起る。
- 12—旭区上川井町の県住宅供給公社若葉台分譲住宅の申込者が平均十・三五倍に達す。15—県の高校計画に三浦学区の住民、環境破壊に反対して仮処分申請
- 16—県、振動規制法の対象地域と規制基準を決める。20—国鉄のグリーン料金平均三割引下。
- ▽長期金利引下。21—立川基地地元利用案に都・立川市・昭島市が調印。22—東海村の核処理燃料再処理工場の試運転開始。
- ▽政府、一般消費税の来年度施行を見送り。▽川崎市で町づくりに地区カルテを計画。25—東名高速道路の大和市草柳で投石により一人死亡。26—県、石油コンビナート等防災計画。▽横

芹ヶ谷銀座と中華街南門通りを指定

21—九月定例市会、四六億の補正予算など提案。▽市長、社会党改革にかんする見解として、三項目を提案。▽市、第二種住居専用地域の容積率を二〇〇%から一五〇%に引下げ、来年四月実施の予定
27—米軍RE4Bファントム偵察機、緑区荏田町の宅地造成地に墜落、死者二人
28—保土ヶ谷地元商店街、ニチイの天王町出店に反対決議

1—中・神奈川・保土ヶ谷・鶴見・磯子の五区、区制施行五〇周年を迎える。▽小机城跡市民の森オープン。▽磯子小学校の木造校舎を鉄筋四階建てに建替えはじめる。▽印鑑証明が登録カード制に
2—根岸森林公園、競馬記念公園開園
4—市、都市河川がいこいの場となるよう環境整備に力を入れることを決める
5—九月定例市会本会議終える
7—市民大学講座が教文センターで二月一三日まで開かれる
8—第二回神奈川芸術祭開幕あけ。▽横浜都市問題研究会発足（横浜国大助教教授らの若手学者による）
12—ルーマニアのコンスタンツァ市と姉妹都市調印式。▽西消防署改築完成
13—今年の市内火事が千件を突破
14—市、違法建築パトロールで一三件を施行停止。▽市長、厚木基地の飛行一時

浜ゴムのタイヤに欠陥。▽横浜洋裁学院、山手のゲーテ座跡地に服飾博物館を計画。▽浜田泰助の「心に映る横浜百姓」三越ギャラリーで開催。27—社会党大会二日目、田英夫氏ら三人離党。29—藤沢駅北口再開発ビル難航。▽政府、日本赤軍に身代金六百万ドル支払いを決める。▽臨時国会召集。30—国土庁、地価全国平均で一・五上昇と発表。住宅地は微騰

1—伊藤忠、安宅産業を吸収合併。▽町田市で下水処理場オープン、工費七二億円。2—横浜車イスの会発足。3—円急騰、二六二円台に。5—カネミ油症事件で福岡地裁六億余円の支払いを命ずる。6—円二五九円四五銭。7—建設省、宮ヶ瀬ダム立入り調査。9—空港反対同盟の成田集会。▽文部省、男子が一八才をピークに体力下り坂を指摘。12—神奈川文化賞銅木欽作氏ら五人に。14—建設省横浜国道事務所の贈収賄摘発。15—東京銀座でヒストル発射。通行人大けが。▽長崎でバス・ジャック事件。20—慶応大学入試

中止を要請。▽横浜地裁で市水道汚職の被告に有罪判決

16—市営墓地二五〇区画の分譲受付
17—市長、エンジン送還につき米大統領に書簡。▽非常時にそなえ、四万二千個の水のカン詰を区役所に配備
19—金沢工業団地の九割が予約済み。▽横浜市航空安全対策専門委員会設置（新羅一郎氏ら六人）
19—四首長懇談会でダム周辺振興基金の新設を決める。▽三首長会談

21—市会決算特別委員会で、市が、三菱横浜造船所の金沢地先埋立地移転が、造船不況のため延期もありうると発言
24—横浜文化賞に柳原良平氏ら五氏
25—市職員のベア率六・六七%で妥結
26—市、食品添加物の許容量を国の使用基準よりへらすため、まずめん類を対象に指導はじめる
27—野音を守る会、横浜公園野外音楽堂の存続を申入れ
28—神奈川・港北・緑区の区界を一部変更
29—マリナード地下街オープン
31—日本住宅公団、港北ニュータウン仮換地の供覧開始

問題ろうえい事件、後藤元教授の申請取下げで幕切れ。21—反戦デー。22—自民党県連会長に小此木彦三氏。▽「あすの神奈川を考える」県民討論会終る。
23—富士スピードウェイでレース車落下、死者二人、▽横浜で第六回国際こども音楽祭、24—イトービアの高校建設問題、住民と伊藤忠不動産が和解、▽尾上町サンケイビルに時限装置つき爆発物しかけられる。▽25—鎌倉で全国革新市長会。福祉を語る革新市長と婦人のつどい。▽全駐労働須賀支部二四時間スト。
28—東京スモン訴訟和解成立。
30—最高裁に火災びん。▽野尻抱彰（九二）没。31—春日一幸民社委員長辞意表明。▽長岡市の信濃川河川敷指定解除さる。
▽東京都、クロム禍六〇億円の恒久対策を日本化学工業株式会社に要求。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。* 印は日付不確定のため新聞発行日。